



## つちおと

あの日から3年  
各地で東日本大震災3周年追悼式典開催される

- 平成26年3月11日、あの大災害から3年を迎えるにあたり、被災各地において御霊を追悼する行事が執り行われました。

気仙沼市、南三陸町においても追悼式が行われ、会場内の大型スクリーンに映し出された国立劇場(東京・千代田区)の追悼式(内閣府主催)に合わせ、14時46分に1分間の黙祷が捧げられたあと、内閣総理大臣の式辞、つづいて天皇陛下のお言葉を拝聴しました。

総理大臣の式辞では、「大地震の教訓を胸に刻み、将来の様々な災害から国民の生命・身体・財産を守りぬくため、倦まず弛まず強靱な国づくりを進めることを心から誓う」と、改めて復旧・復興への決意を述べられるとともに、「我が国の先人達は幾多の困難を克服し、その度により逞しく立ち上がってきた。今日を生きる私たちも、それに倣い、手を携えて、前を向いて歩いていくことを誓い、御霊の永久に安からんこと、また、ご遺族皆様の平安を祈念する」と結びました。

天皇陛下のお言葉では、震災によって失われた人々と、そのご遺族に対し、あらためて哀悼の言葉が述べられるとともに、「被災した人々の上には、今も様々な苦労があることと察しています。この人々の健康が守られ、どうか希望を失うこと無く、これからを過ごしていかれるよう、長きにわたって国民みなさんが心をつちかして寄り添っていくことが大切だと思います。そして、この大震災の記憶を決して忘れることなく子孫に伝え、防災に対する心がけを育み、安全な国土を築くことを目指して進んでいくことを期待しています。被災地に、一日でも早く、安らかな日々の戻ることを、一同とともに願い、御霊への追悼の言葉と致します」と結ばれました。

その後、それぞれの会場では、主催者の式辞、来賓による追悼の辞、あの日大切なひとをなくしたご遺族の代表が故人にお別れの言葉を述べられた後、追悼式に参列したご遺族はじめ一般参列者による献花が行われました。



追悼式で式辞を述べる菅原市長



追悼式で式辞を述べる佐藤町長

◆被災された方々にとっては、とても長い3年であったと思います。一方、復興事業に携わる人たちにとっては、いくら時間があっても足りないと感じることもあったのでは…。時計で計れば同じ時間でも、置かれた立場や環境で感じ方は千差万別でありましょう。それぞれの思いを感じながら、発災から3年という節目を迎えました。道半ばの復興を前へ前へと進めることが、被災された全ての方々への希望につながるものと肝に銘じ、復興庁は、関係機関と連携しながら出来る限りの支援を続けて参ります。◆私事で恐縮ですが、今月号の担当を最後に気仙沼を離れることになりました。2年と2ヶ月、支所管内の多くの方々に変なお世話になりました。紙面では失礼ながら、心から御礼申し上げます。これからも気仙沼市、南三陸町を忘れることなく、別の立場で応援を続けて参ります。1日もはやい復興を祈念しております。お元気で… (山)

## ～ 車座ふるさとトーク 「被災者の健康・子供支援について」～

3月15日、谷復興副大臣が石巻市河北総合支所において、「被災者の健康・子供支援」というテーマで、宮城県内でも最も被害の大きかった県北5市町（気仙沼市、南三陸町、石巻市、女川町、東松島市）で仮設住宅などへの見守り活動や心のケアに従事している社会福祉協議会やNPO法人の支援者を対象とし、現場レベルでの課題や被災者支援を通じて感じることなど、少人数での車座対話する「車座ふるさとトーク」を実施し、意見交換を行いました。

出席した支援者から、被災者の健康面や心のケアに係る相談等に対し、以下のような現地の「生の声」をいただきました。



谷復興副大臣

- ・ 仮設住宅の地域になじんだところなのに、災害公営住宅への移転に際し、またばらばらとなり、移転先でコミュニティを再度作っていかねばならない。  
移転先の地域になじんでいけるのか、不安の声があり、移転後も継続して見守り支援などが必要。
- ・ 生活苦や介護の問題など、自分たちだけでは解決できない多くの課題について、行政と支援者との間で、共通認識を持つための取り組みが必要。
- ・ 子供達と住民との交流を行う中で、子供達の元気な顔を見たい、グラウンドを早く返してあげたいと、自分たちで意識することが大切。
- ・ 行政も住民の思いを汲んだ言い方をしてほしい。

また、「最初のころは辛いことも多く、泣きながら見守り活動をやっていたが、最近になって、これまでやってきてよかったとの思いがしている。」「住民自らが自分たちにできることを探そうという活気が出てきている。」、といった声もあり、支援者同士のやる気や達成感も共有することができました。

支援者の方々の益々のご活躍に期待しますと同時に、復興庁としましても、今回お話しいただいた課題をしっかりと受け止め、今後、新たな住宅に移られた後の継続したフォローや支援者の方々との連携・協力態勢の確保、さらに、どのような仕組みづくりなどを行えばよいか、被災地・被災者と一体となって取り組んで参る所存です。





## ～ 第8回復興交付金交付可能額通知～

1月下旬に被災自治体から提出された復興交付金事業計画に対して、3月7日に交付可能額の通知を行いました。7県に対して通知を行い、その合計の事業費は約2,616億円となりました。

うち気仙沼市については、災害公営住宅整備事業（南郷、四反田、南気仙沼地区他8地区）に約297億円、漁業集落防災機能強化事業（大沢、只越、川原地区他16地区）に約44億円、防災集団移転促進事業（大沢A、大沢B、舞根2地区他34地区）に約26億円、津波復興拠点整備事業（朝日町地区造船・燃油施設整備事業）に約15億円、水産業共同利用施設復興整備事業（漁業用燃油施設整備事業）等に約1.5億円、などの配分をしました。このうち、災害公営住宅整備事業（南気仙沼、鹿折、面瀬、大谷、津谷、只越、唐桑、鹿折東、内湾地区）については、完成までの事業費を配分しています。

南三陸町については、災害公営住宅整備事業（志津川中央、戸倉地区）に約19億円、漁業集落防災機能強化事業（港、田の浦、石浜地区他13地区）に約2億円、公立学校施設整備費国庫負担事業（戸倉小学校校舎新築事業等）に約1億円、保育所等の複合化・多機能化推進事業（戸倉地区子育て拠点整備事業）に約0.2億円、などの配分をしました。このうち、災害公営住宅整備事業（戸倉地区）については、完成までの事業費を配分しています。



気仙沼市の災害公営住宅整備事業の工事の様子  
(牧沢地区)



南三陸町の防災集団移転促進事業の工事の様子  
(歌津 港地区 塚団地)



気仙沼市の災害公営住宅整備事業の工事の様子  
(南郷地区)



南三陸町の災害公営住宅整備事業の工事の様子  
(歌津地区 災害公営名足住宅)

これまで、平成23年度から8回にわたって復興交付金の交付可能額の通知を行っているところ、気仙沼市については、事業費の合計で約2,300億円（災害公営住宅整備事業に約670億円、防災集団移転促進事業に約500億円、道路事業に約250億円、水産業共同利用施設復興整備事業に約230億円、都市再生区画整理事業に約160億円など）、南三陸町については、事業費の合計で約980億円（防災集団移転促進事業に約340億円、災害公営住宅整備事業に約180億円、道路事業に約110億円、水産業共同利用施設復興整備事業に約70億円、津波復興拠点整備事業に約70億円など）の配分をしています。

次回（第9回）の事業計画の提出受付時期は被災自治体の作業状況等を踏まえて検討することとしています。引き続き、当支所としても、気仙沼市と南三陸町の事業計画の作成や事業の円滑な推進に協力して参ります。

## 【4月4日-8日開催】第19回 OASIS 2014（オアシス実行委員会）

1996年に大阪で産声をあげた芸術祭「OASIS」。2011年の第16回展からは、東日本大震災の被災地支援を目的とした特設ブースでのチャリティ展「アーティスト・スクランブル」を開催してきています。アート作品を展示するほか、楽しみながらアートを体験できる場を提供しています。宮城県他後援。◇ 平成26年4月4日（金）-4月8日（火）◇ せんだいメディアテーク

詳細は URL よりご確認ください。⇒ <http://www.reijinsha.com/event/oasis.html>

## 【4月5日開催】「気仙沼・南三陸 未来創造フォーラム」（気仙沼市、気仙沼商工会議所）

自らのため、地域のため、そして東北の明日のために活動されている方を対象に、「気仙沼・南三陸 未来創造フォーラム」を開催いたします。日本を代表する全人格リーダーシップ教育機関アイ・エス・エルの創始者である野田智義氏にご登壇いただき、従来とは異なる新しい視点でのリーダーシップ論について映像を交えながら参加の皆様と共に未来を展望します。

◇ 平成26年4月5日（土）13:00-15:00 ◇ 気仙沼中央公民館 会議室1~4 （魚市場前1-1 旧気仙沼河北ビル3F）

どなたでも参加可。お申し込み先は気仙沼市震災復興企画課 TEL 0226-22-6600（内線313）。募集期間は4月3日まで。

詳細は URL よりご確認ください。⇒ <http://www.city.kesennuma.lg.jp/www/contents/1395305364352/index.html>

## ナンプレにチャレンジ！！

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   | 8 |   |   | 4 | 1 |   |   |
|   | 5 |   | 7 |   | 6 |   |   |   |
| 6 |   |   | 1 | 8 | 9 |   |   | 7 |
|   | 8 | 1 |   |   |   | 2 | 6 | 9 |
|   |   | 4 |   | 9 |   | 8 |   |   |
| 5 | 2 | 9 |   |   |   | 7 | 4 |   |
| 2 |   |   | 8 | 6 | 7 |   |   | 4 |
|   |   |   | 9 |   | 3 |   | 8 |   |
|   |   | 6 | 5 |   |   | 3 |   |   |

### ルール

- ・9マスごとの縦の列と横の列にそれぞれ1から9の数字が1つずつ入ります。
- ・太枠で囲まれた9マス（縦3マス、横3マス）にそれぞれ1から9の数字が1つずつ入ります。

### 【編集後記】

◆春が近づき、だんだんと過ごしやすいく気候になってきました。これから自転車に乗ったり散歩したりする機会が増えるのが楽しみです。そしてまた気仙沼、南三陸の新たな一面に触れていきたいと思います。

（前号のナンプレの回答）

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8 | 9 | 1 | 7 | 3 | 5 | 2 | 4 | 6 |
| 6 | 3 | 7 | 2 | 4 | 8 | 9 | 1 | 5 |
| 2 | 4 | 5 | 6 | 9 | 1 | 7 | 3 | 8 |
| 4 | 7 | 8 | 1 | 2 | 9 | 6 | 5 | 3 |
| 3 | 2 | 6 | 4 | 5 | 7 | 8 | 9 | 1 |
| 1 | 5 | 9 | 8 | 6 | 3 | 4 | 7 | 2 |
| 7 | 8 | 4 | 3 | 1 | 6 | 5 | 2 | 9 |
| 5 | 6 | 3 | 9 | 7 | 2 | 1 | 8 | 4 |
| 9 | 1 | 2 | 5 | 8 | 4 | 3 | 6 | 7 |

桜前線  
北上中！



3月も残りわずか。東北の桜の開花は、4月の訪れとともににはじまりますが、宮城県北沿岸では中旬ごろでしょうか。ピカピカの1年生と桜、素敵な組み合わせですね。



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます

- ①復興庁のホームページ
- ②宮城復興局
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所  
電話 0226-23-5301  
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ

<http://www.reconstruction.go.jp/>